

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	全国障害者スポーツ大会・堺市予選大会				事業番号	011-124
担当部署名	健康福祉局	局	障害福祉部	部	障害施策推進課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
			有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画、堺市スポーツ推進プラン		
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（略称:障害者総合支援法）		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者 療育手帳取得の対象に準ずる者（知的障害者（児）社会福祉施設、特別支援学校、特別支援学級の在籍者） 精神障害者保健福祉手帳の取得の対象に準ずる者（自立支援医療（精神通院）受給者証の交付を受けた者）			対象数	単位
					約67,000	人
7	事業の目的	障害者が本大会に参加することにより、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさを体験しながら競技力を向上させる。また、市民の障害者に対する理解と認識を深め、もって障害者の自立と社会参加の促進に寄与する。				
8	事業内容	○第20回堺市障害者スポーツ大会 開催期間 令和7年4月3日～令和7年9月21日 参加者数 357人 ※開催競技 （個人競技）陸上、ボッチャ、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク、ボウリング （団体競技）バレーボール、バスケットボール、ソフトボール （オープン団体競技）ボッチャ、ふうせんバレーボール ○第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」 開催期間 令和7年10月25日～10月27日 派遣期間 令和7年10月24日～10月28日 ※参加競技 陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ、バスケットボール				
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—				
9	主な支出先	—				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	堺市予選大会参加人数	人	目標値	550	575	600	700
			実績値	381	357		
			達成率	69%	62%		
	当該指標を選定した理由	堺市予選大会への参加者数増が、障害者のスポーツ参加意欲増を表すといえるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	仕様書上の目標値					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	競技数	競技	目標値	7	7	7	
			実績値	12	12		
			達成率	171%	171%		
	当該指標を選定した理由	障害者スポーツ練習会、記録会の競技数が増えることで、堺市予選大会への出場選手も増えると考えられるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	仕様書に定める競技数を記載					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		全国障害者スポーツ大会・堺市予選大会				事業番号		011-124					
Ⅲ. 投入量													
事業コスト													
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）													
項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度					
		決算		決算		当初予算		当初予算					
13	財 源 内 訳	事業費（a）		316		297		323		306		645	
		国支出金		0		0		0		0		0	
		府支出金		0		0		0		0		0	
		市債		0		0		0		0		0	
		その他（ ）		0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0	
		一般財源		316		297		323		306		645	
14		人件費（b）		2,430		2,430		2,520		2,520		2,610	
15		年間経費（c）=(a)+(b)		2,746		2,727		2,843		2,826		3,255	
事業費の内訳													
（単位：千円）													
16	事 業 費 内 訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度		事業費	うち 一般財源
				R7	決算					R7	決算		
		医師報酬		R8	予算	168	168			R8	予算		
				R7	決算	13	13			R7	決算		
		普通旅費（枠）		R8	予算	280	280			R8	予算		
				R7	決算	19	19			R7	決算		
		消耗品費（枠）		R8	予算	27	27			R8	予算		
				R7	決算	55	55			R7	決算		
		その他使用料及び賃借料（枠）		R8	予算	1	1			R8	予算		
				R7	決算	78	78			R7	決算		
		全国障害者スポーツ大会派遣負担金（枠）		R8	予算	97	97			R8	予算		
				R7	決算	213	213			R7	決算		
		Ⅳ. 事業の効率性											
		単位当たり経費											
17		区 分		単位		令和6年度		令和7年度					
		① 堺市予選大会参加人数		人		381		357					
		② 上記①にかかる年間経費		千円		140		168					
		③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位		368		471					
		算出についての説明等		当該事業における堺市予選大会への医師派遣報酬									
Ⅴ. 評価													
費用対効果に係る所見													
18		令和7年度の堺市障害者スポーツ大会の参加人数は、令和6年度に比べ24人減少し357人となった。参加者の高齢化に伴い、体力面や健康上の理由により参加を控える方が増加したこと等が要因と考えられる。											
		KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）											
19		障害者がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさを体験しながら競技力を向上、またスポーツを通して社会参加意欲を喚起させることを目的に実施しており、令和7年度は堺市障害者スポーツ大会について全ての競技を実施することができ、357人の参加者を得ることができた。本事業の実施により、多くの障害者がスポーツ活動を通じて生きがいを感じ、障害者の社会参加の促進につながったといえる。このことから、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与している。											
		令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
20	必 要 性	■ 高い □ 低い 本事業は、障害者がスポーツに親しみ、競技力の向上を図り、また、社会参加の促進を目的として実施しており、障害者の自立支援や市民の障害理解の促進に寄与する重要な取組であることから、必要性は高い。											
		堺市障害者スポーツ大会は継続して実施されており、一定数の参加者を確保しているものの、直近では参加者数が減少している。これは参加者の高齢化や健康面の理由による影響と考えられるが、本事業により多くの障害者がスポーツ活動を通じて生きがいを感じる機会を提供している点において、有効性は認められる。											
	有 効 性	■ 高い □ 低い 今後は、若年層の参加促進や参加しやすい環境の整備を進めるなど、参加者数の増加に向けた取組を強化することで、更なる事業効果の向上が期待される。											